

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

鼻副鼻腔手術に対する上顎神経ブロックの有用性についての後方視的検討			
1. 研究の対象および研究対象期間 2025 年 7 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までに昭和医科大学横浜市北部病院耳鼻咽喉科で、内視鏡下鼻副鼻腔手術を行った患者さん。			
2. 研究目的・方法 内視鏡下鼻副鼻腔手術をはじめとする全身麻酔下での手術では、術中侵害刺激に対してレミフェンタニルやフェンタニルなどのオピオイドが使用されます。しかし過量使用は、術後の悪心・嘔吐をはじめとした様々な副作用の原因となります。そのため術中のオピオイド使用量を減らすことが重要です。 上顎神経は鼻副鼻腔領域の知覚を担っている神経です。その上顎神経に局所麻酔を行うことで、鼻内手術の疼痛に有効であると考えられています。そこで我々は、全身麻酔下内視鏡下鼻副鼻腔手術を受けた患者さんの疼痛の程度を、上顎神経ブロックを行った患者さんで行っていない患者さんと比較し、有効性を検討します。			
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 12 月 31 日まで			
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、合併症、現病歴）、手術内容（術式、手術時間、麻酔時間、使用した麻酔薬名・量）、術後経過（血圧、心拍数、体温、使用した鎮痛薬・制吐薬の名称・量）を研究に用います。			
5. 外部への試料・情報の提供 本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用の ID を付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和医科大学横浜市北部病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和医科大学横浜市北部病院の研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。			
6. 研究組織 研究責任者 研究機関名 昭和医科大学横浜市北部病院 氏名 野澤皓貴			

研究分担者	研究機関名	昭和医科大学横浜市北部病院	氏名	野垣岳稔
-------	-------	---------------	----	------

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院耳鼻咽喉科 氏名：野澤皓貴

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-5168